

# 情報公開文書

研究の名称	糖尿病患者における膵臓切除術前後のインスリン分泌能に関する 後方視的検討
整理番号	R2020207
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学附属病院 臨床研究管理センター 中條大輔
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2015年12月1日から2024年3月31日に富山大学附属病院で膵切除術を受けた患者様 膵切除術の前後で血糖値および血清Cペプチド(CPR)を測定した患者様</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 膵切除術前後でご自身からのインスリン分泌能の変化を評価し、術後のインスリン分泌能低下が糖尿病治療指標に与える影響、および術後のインスリン分泌能低下に影響を与える因子を検討します。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 1. 電子カルテから以下の項目について収集します。 年齢、性別、身長、体重、糖尿病罹患歴、家族歴等の患者背景因子 血液・生化学検査所見(血球数・肝腎機能・血糖コントロール指標・脂質コントロール指標・電解質・腫瘍マーカー等)、尿検査所見 内因性インスリン分泌指標(食前後の血清CPR、Cペプチド指数(CPI; <math>CPR/血糖値 \times 100</math>)) 術式 糖尿病治療内容</p> <p>2. 収集した項目を用いて、術式ごとのインスリン分泌能の変化や糖尿病治療状況の推移、インスリン分泌能に影響を与える因子について解析します。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2021年3月22日~2024年3月31日 (電子カルテ情報の調査期間:2019年9月1日~2024年3月31日)</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 本研究の結果は、糖尿病の分野に関連する学会や論文にて公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究には、通常診療範囲内の診療情報(カルテ情報)を用います。上記研究の方法に記載している項目についてカルテ情報を取得します。情報を研究に用いる際には匿名化を行い、個人名やカルテ番号など個人が特定されうる情報は用いません。他機関に試料・情報を提供することはありません。ご自身の情報を研究に使用させていただくことについて同意を頂けない場合は参加を拒否できますので、下記の連絡先までご連絡ください。拒否いただいた場合は、該当する方の情報は研究に用いません。ただし、研究結果が出た後の参加拒否も申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 臨床研究管理センター 教授 中條大輔
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任	富山大学附属病院 臨床研究管理センター 教授 中條大輔

者（研究主機関における研究責任者氏名）	
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076 - 434 - 2281 FAX 076-434-5069 E-mail d2262007@ems.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学院医学薬学教育部生命・臨床医学専攻 大学院生 四方 雅隆